

# 生態毒性QSARモデルの 開発状況について

(独)国立環境研究所 環境リスク研究センター 白石 寛明







- 新規化学物質審査における活用
- 既存化学物質安全性点検における活用

### (Q)SARのエンドポイント

- 生分解性•濃縮性 経済産業省
- 人毒性(変異原性) 厚生労働省
- 生態毒性(魚類、甲殼類、藻類急性毒性) 環境省

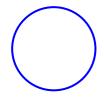


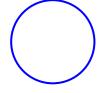


### 対象モデル

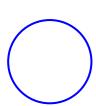
名称	開発元	生物種	特徴
ECOSAR	US EPA	魚類、甲 殻類、藻 類	・部分構造等によるクラス分類 ・主にLogPとの単相関による予測
TOPKAT	Health Design Inc. & Oxford Molecular Group, Inc	魚類、甲 設類	・部分構造等による最適モデルの選択 ・構造記述子、物性等を用いた重相関 による予測
TIMES	Univ. of Burgas	魚類、甲 殻類等17 種の生物 種	・クラス分類 ・LogP、3D記述子等を用いた予測
MCASE	Multicase Inc.	魚類	・部分構造等によるクラス分類 ・LogP他物性等を用いた予測











# 既存モデルの検証

#### 検証に用いたデータセット

環境省生態影響試験結果(平成7~15年度)※

- 魚類(メダカ) 230物質

- 甲殻類(オオミジンコ) 294物質

232物質 - 藻類

※限度試験結果を除く

- EPA Fathead Minnowデータベース
  - 魚類(ファットヘッドミノー) 580物質

#### 検証方法

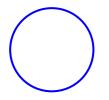
解析データセットの実測値とモデルによる予測値との相関解析

#### 検証の指標

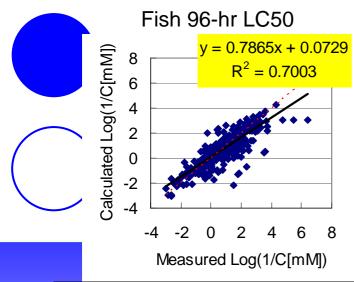
- 傾き(~1)、切片(~O)、決定係数(R<sup>2</sup>値)
- 2乗平均平方根誤差(RMSE: Root Mean Square Error)

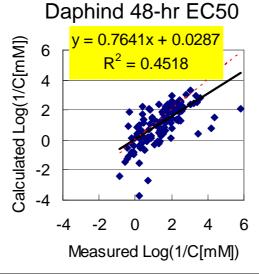


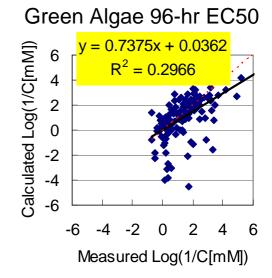
 $\mathbb{K}RMSE = [\Sigma (Predicted Value - Observed Value)^2/n]^{0.5}$ 



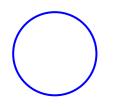
## ECOSARの評価







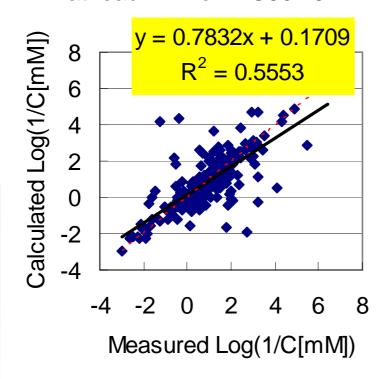
		Fish 9	6-hrLC	50			Daphr	nid 48-h	nr EC5	0		Algae	96-hr I	EC50		
	Class	物質	傾き	決定 係数	平均誤 差	RMS	物質 数	傾き		平均誤 差	RMS	物質 数	傾き		平均誤 差	RMS
		数			_	E			1余数	左	E					E
	Acrylates	5	0.65	0.90	-0.08	0.19	4	-	-	-	-	5	1.83	0.99	0.02	0.26
	Aldehydes	31	0.23	0.21	-0.23	0.74	1	-	-	-	-	4	-	-	-	-
	Aliphatic Amines	8	0.47	0.77	0.09	0.66	9	1.38	0.59	0.58	0.80	14	0.60	0.32	-0.14	1.23
	Aromatic Amines	29	0.91	0.87	-0.13	0.38	16	0.13	0.10	0.26	0.57	-	-	-	-	-
	Esters	29	0.48	0.80	-0.26	1.00	13	0.70	0.48	-0.49	1.13	7	0.67	0.67	1.31	1.42
	Methacrylates	6	0.40	0.33	-0.29	0.69	-	ı	-	-	-	-	-	-	-	-
	Neutral Organics	195	0.89	0.72	-0.12	0.72	65	1.13	0.68	-0.493	0.86	73	0.82	0.35	-0.68	1.58
	Phenols	48	0.70	0.78	0.09	0.53	17	0.42	0.37	-0.443	0.86	19	0.79	0.24	-0.14	1.05
	Phenols (dinitro)	5	0.52	0.66	-0.10	0.43	-	ı	1	-	-	-	-	-	-	-
	Propargyl Alc-hindered	9	0.20	0.16	-0.39	1.20	-	ı	-	-	ı	ı	-	ı	-	-
	Vinyl/Allyl Halides	6	0.15	0.05	0.15	1.19	2	-	-	-	-	4	-	-	-	-
1	All	401	0.79	0.70	-0.10	0.74	146	0.76	0.45	-0.32	0.99	137	0.74	0.30	-0.33	1.43



### TOPKATの評価

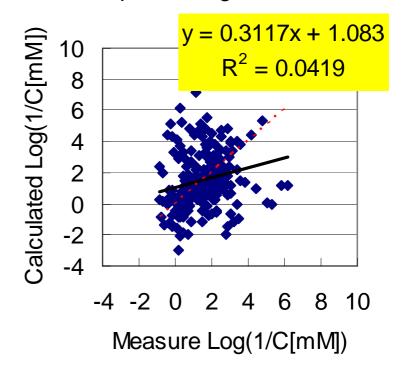


Fathead Minnow LC50 v3.2



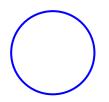
RMSE = 0.93

#### Daphnia magna EC50 v3.1

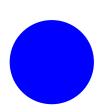


RMSE = 1.88

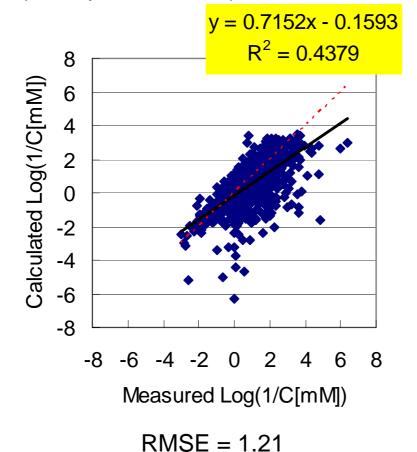




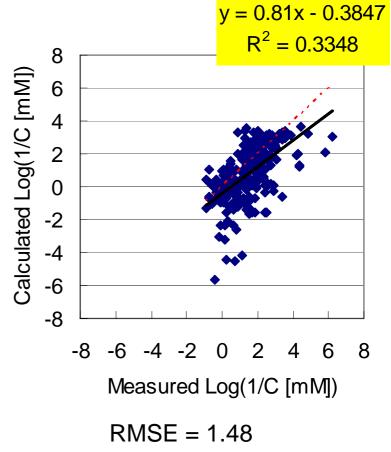
### TIMESの評価



Fathead Minnow 96-hr LC50 (Interspecies Model)



Daphnia magna 48-hr EC50 (Interspecies Model)



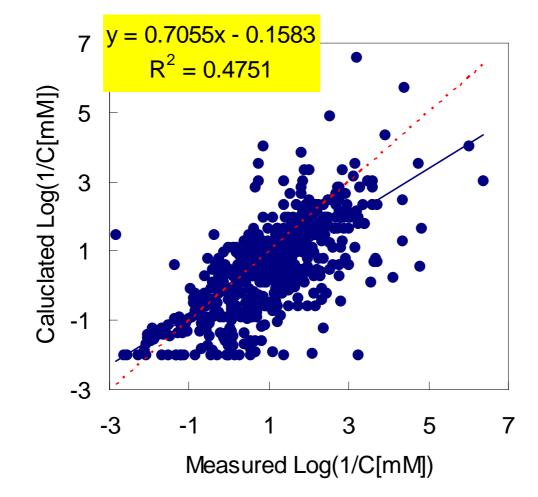




### MCASEの評価

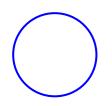


#### Fathead Minnow 96-hr LC50

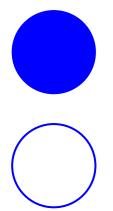


RMSE = 1.12



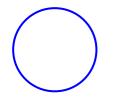


## 既存QSARシステムの評価のまとめ



モデル名称	対象生物	傾き	決定係数	2乗平均平 方根誤差 (RMSE)
ECOSAR	魚類	0.79	0.70	0.74
	甲殻類	0.76	0.45	0.99
	藻類	0.74	0.30	1.43
TOPKAT	魚類	0.78	0.55	0.93
	甲殼類	0.31	0.04	1.88
TIMES	魚類	0.72	0.44	1.21
	甲殻類	0.81	0.33	1.48
MCASE	魚類	0.71	0.48	1.12





# 生態毒性予測システムの開発

エンドポイント及びデータセット

#### エンドポイント

- 魚類、甲殻類、藻類の急性毒性
  - 魚類急性毒性試験 96hr LC50
  - 甲殼類急性遊泳阻害試験 48hr EC50
  - 藻類生長阻害試験 72hr EC50

#### データセット

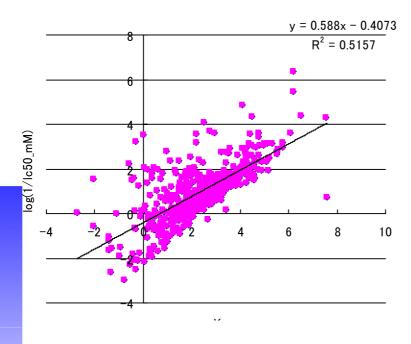
- 環境省生態影響試験結果(平成7年度~17年度)※
  - 魚類(メダカ) 275物質
  - 甲殻類(オオミジンコ) 347物質
  - 藻類 247物質

※ 限度試験を除く。

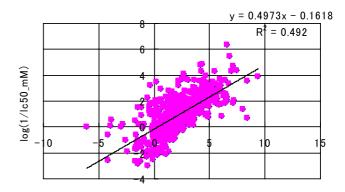
- EPA Fathead Minnowデータベース
  - 魚類(ファットヘッドミノー) 580物質



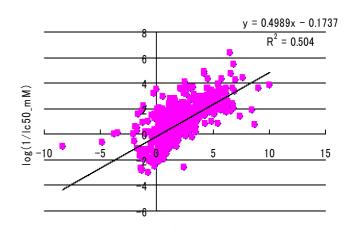




実測値:LogP

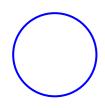


予測值:KowWin



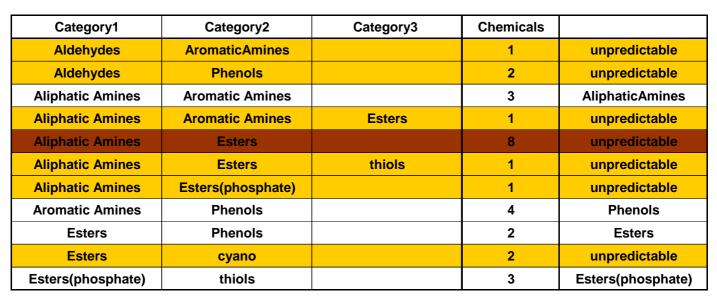
予測值:ClogP











#### **Existing Chemicals**

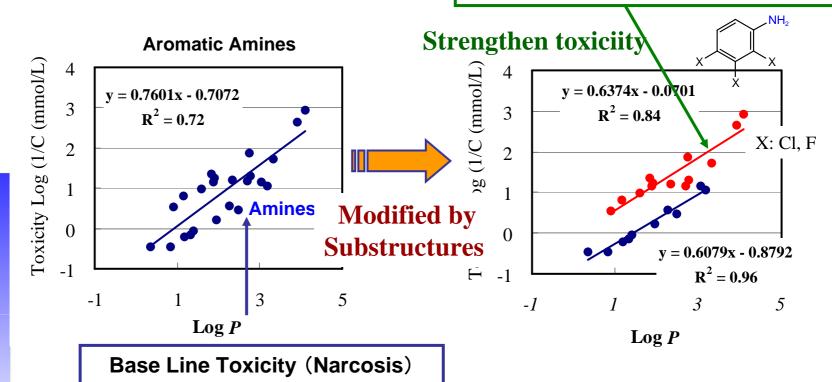
Num of category	Chemicals	Ratio
Base line	6,457	34.2%
1	9,959	52.7%
2	1,940	10.3%
3	450	2.4%
4 Not	Predict 79	0.42%
5	8	0.04%
6	2	0.01%
Sum	18,895	100.0%

3つのカテゴリーの組み合わせ のルール化



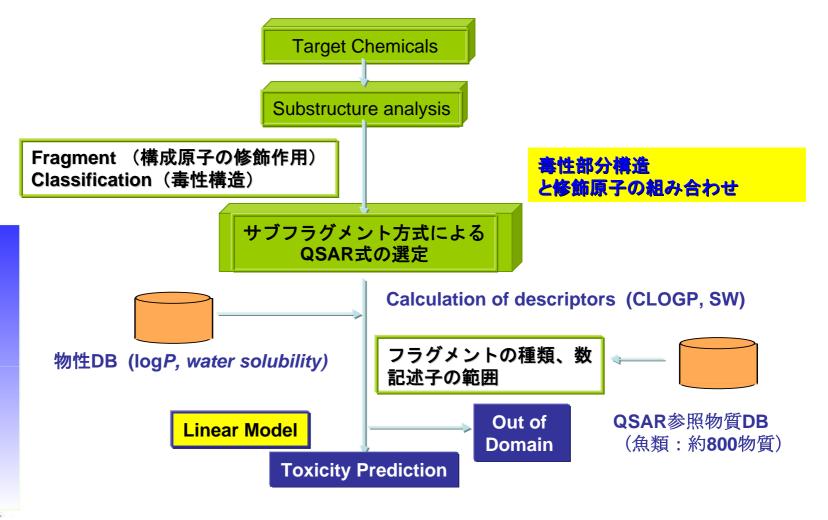


電子吸引性、共役性、反応性、立体障害



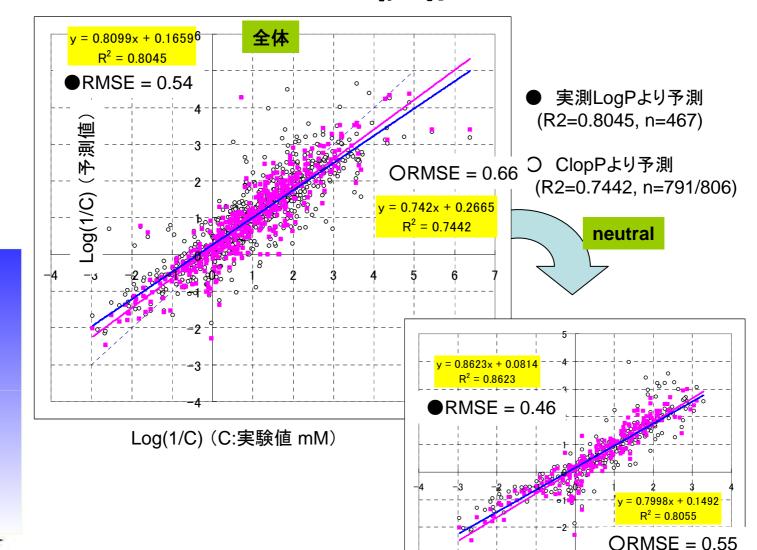


### 生態毒性予測システムの基本的な考え方

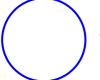




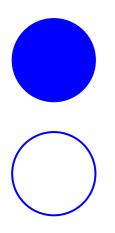
# QSAR システムの検証 (開発用 α バージョン)







# Web版 1 化合物入力画面



<b>生能主料を与さって 1 1 1</b>	
生態毒性判定システム-入力	

Top > Login/Logout > input chemical > view result > ver

<u>WebKis-plus検索 CAS検索</u>

化.	슴	物	入	ታ
16		77)	$\mathcal{I}$	JJ

CAS番号 [11-10-6] 物質名称 [The plant will grow into a big tree  LogKow(実測) [ mg/L	
ファイル 入力モード 参照 実行	
SMILES直接入力/構造式エディットモード エディタ起動 実行	

バッチモード



Webkis-plusからの物質検索 CAS番号からのSMILES入力

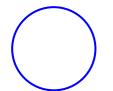
「CAS番号」欄:CAS番号を入力 「物質名称」欄:物質名称を入力。

ファイル入力モード: molファイルをアップロードし、自動的

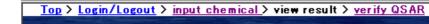
ICSMILESに変化し予測を行う。

SMILES直接入力: SMILESを入力し、予測を行う

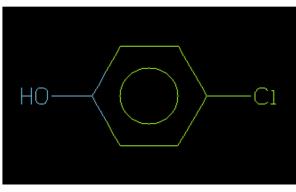




# Web版 2 結果表示画面



#### 魚類急性毒性の予測結果



CAS番号	106-48-9
物質名称	P-CHLOROPHENOL
SMILES	Oc1ccc(CI)cc1
分子量	128.560
水溶解度(mg/L)	実測値(input)
LogP	実測値DB 2.390 予測値ClogP 2.485 実測値(input)
色の説明	水色: 毒性が懸念される部分構造 緑色: 参照物質と共通 赤色: 参照物質と不一致 白色: 未検索

#### QSARクラス: Phenols

// <u>結果ファイル6(RED)の参照</u>// <mark>更新</mark>

魚類96時間LC50の予測: Log(1/C[mM])= 0.72 \* logP −0.77

ClogP = 2.485 より予測: 0.0957[mmol], 12.30 [mg/

分配係数の手入力はされていません

LogP実測濃度及び予測濃度からの毒性値予測水溶解度実測値と毒性値の比較抽出フラグメント及び参照物質との比較

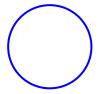
ClogPの結果によれば 難分解・低濃縮性であれば第三種監視化学物質相当ではない/溶解度を確認してください

logPが参照物質の範囲内であることを確認してください

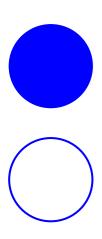
#### ■ フラグメント表示(対象物質) - 物質名称[P-CHLOROPHENOL]

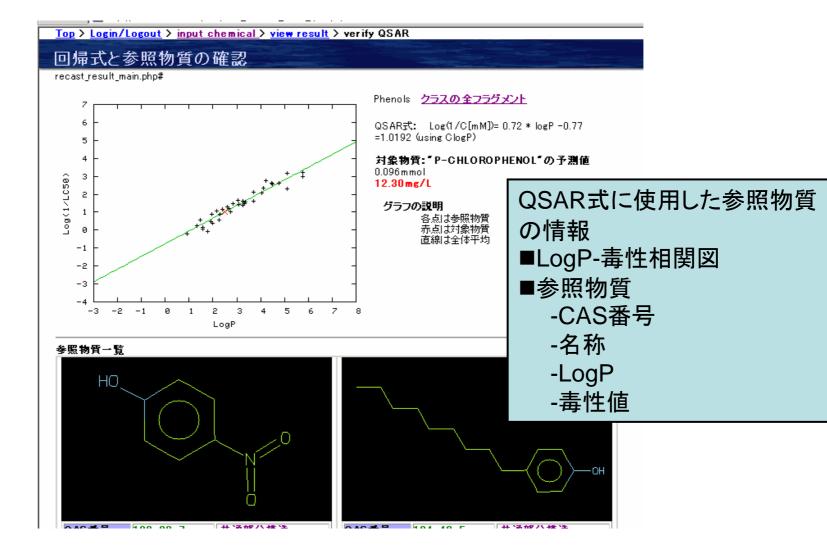
ID	名称	個数	比較
2040	Phenois	1	0
0130	AromaticCarbon	6	0
0199	-CL[chlorine,aromaticattach]	1	0
0285	-OH[hydroxy,aromaticattach]	1	0





# Web版 3 参照物質画面







# Web版 4 参照物質のフラグメントリスト



#### 生態毒性判定システム

#### ■ フラグメントリスト



ID	名称	化合物数
2040	Phenols	38
0130	AromaticCarbon	38
0133	AromaticNitrogen	1
0146	-Br[bromine,aromaticattach]	2
0164	-C(=O)-[carbonyl,onearomaticattach]	1
0191	-CH[aliphaticcarbon]	1
0192	-CH2-[aliphaticcarbon]	4
0193	-CH3[aliphaticcarbon]	16
0199	-CL[chlorine,aromaticattach]	13
0205	-COOH[acid,aromaticattach]	2
0217	-I[aromaticattach]	1
0259	-NO2[nitro,aromaticattach]	2
0266	-O-[aliphaticO,twoaromaticattach]	2
0267	-0-[oxygen,onearomaticattach]	6
0285	OH[hydroxy,aromaticattach]	38
0362	-tertCarbon[3ormorecarbonattach]	2
0: 7	リループ内の他の物質にもフラグメントが存在する。	

〇: クルーフ内の他の物質にもフラクメントか存在する。 ×: 自分自身にしかフラグメントがない。特異的である。 参照物質中にあるフラグメントリ

スト

最大個数 比較

12

3

О

O

■化合物数:参照物質数

■最大個数:物質ごとに含まれ

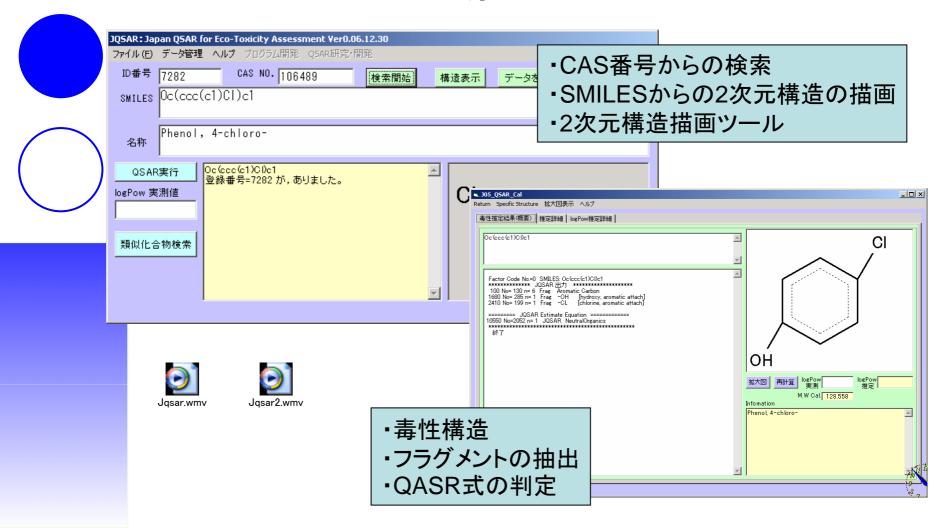
るフラグメントの個数の最大値

■比較:対象物質に含まれる場

合に〇



# ウインドウズ版 (αバージョン)









- 毒性データセットのスクリーニングおよびモデル構築等の作業に供するための開発基盤、枠組みの整備
- 魚類急性毒性についての構造活性相関モデルのサブフラグメント法による構築
- 生態毒性予測システム(WEB版、ウインドウズ版)の作成と、その公開に向けた準備
- OECD会合、第一回(定量的)構造活性相関についてのアドホックグループ会合(2006年6月、於イタリア、ストレーザ)にて生態毒性予測システムの開発状況を報告

#### 今後の予定

- 魚類モデルの検証(validation)と公開
- 化学物質のカテゴリー分類手法の検討、モデル構築手法の検 討、
- 甲殻類、藻類に対する毒性についてのQSARモデル構築

